



LEGISLATIVE ASSEMBLY
of BRITISH COLUMBIA



自主ツアーガイドブック
日本語 JAPANESE



ブリティッシュ・コロンビア州議事堂へようこそ。

ブリティッシュ・コロンビア州議会の拠点であり、現在に至るまで使用されているこの議事堂の建築学的、歴史的な重要性が、このガイドブックに概説されています。掲載されている情報は、ご自身でこの建物を自由に見学するために役立ちます。

州議事堂とその周辺地域は先住民レクワンゲン族の古来からの領地に位置しています。沿岸のサリッシュ族であるレクワンゲン族は、現代ではソングー族およびエスキマルト族として知られており、数千年に及ぶ豊かな文化と歴史を持っています。

どうぞゆっくりとご見学ください。

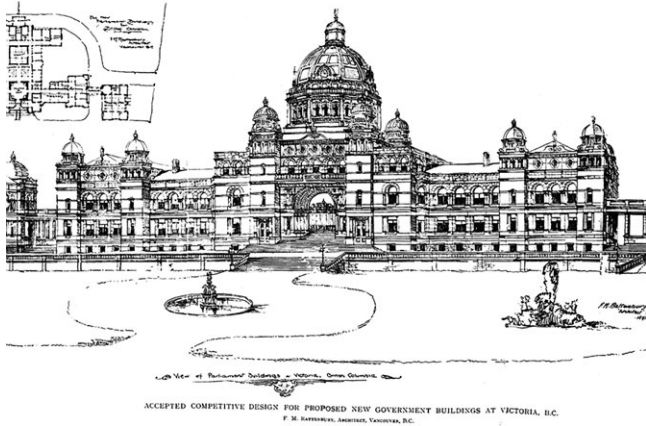


バードケージ(THE BIRDCAGES)

この場所に建てられた最初の議事堂は「バードケージ(鳥かご)」として知られ、その建設は1859年に始まり、1864年に完成しました。議事堂の建物群は、その当時の報道では、「混合された建築様式、中国の仏塔あり、スイスのコテージあり、イタリアン・ヴィラ風の潇洒なバードケージありの最新スタイル」と描写されています。

バードケージは1871年にブリティッシュ・コロンビアが州になって以降も州議事堂として使用されていましたが、人口増加に伴い、1890年代初頭にはこの建物では必要な収容人数に対応しきれなくなってきました。

1892年に新しい議事堂の設計図を選出するため、建築家のコンペティションが開催されました。北米全土からの参加者が提出した65組の図面の中から、25歳の建築家、フランシス・モーソン・ラッテンベリーのもの選ばれました。このプロジェクトは彼の初めての大きな委託事業で、その建設の成功に続き、ラッテンベリーはさらにブリティッシュ・コロンビア州の名所となるような建物をいくつか設計しました。

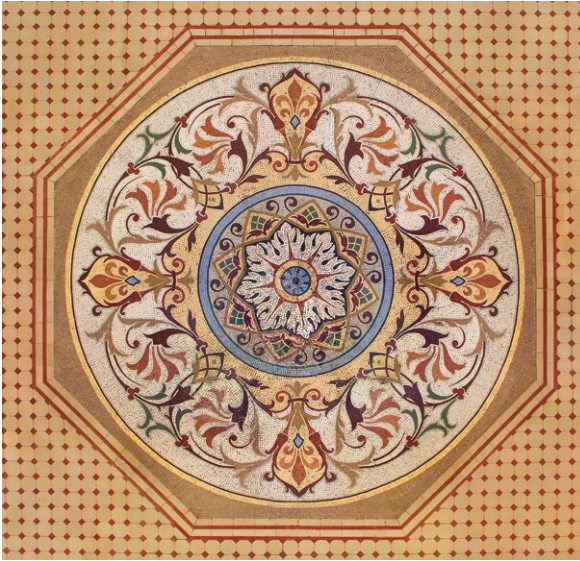


議事堂の設計

新議事堂の建設は1893年に始まり、1897年末に完成されました。議事堂は1898年2月10日に公式に使用が開始されました。1913年から1920年の間、建物には様々な追加がされました。全建造費は2百万ドルをわずかに越した程度でした。

議事堂の様式は、「自由な古典様式」、ルネッサンス様式、ロマネスク様式の折衷と表現されてきました。ラッテンベリーは、この州で産出された原材料が、可能な限り建物に生かされるように設計しています。議事堂の全ファサード上のハディントン島の灰色安山岩、基礎と正面階段に使用されたネルソン島の花崗岩、今は酸化してしまった銅のドーム群、室内の羽目板に使用されている数種の広葉樹材などは、ブリティッシュ・コロンビア州の天然資源の豊富さを示しています。屋根は、もともとはジェビス湾産のスレートで葺かれていましたが、修復時にピッツバーグ産のスレートに交換されました。

定期的な改善を行わなかったため、70年後には議事堂は目立って老朽化していました。屋根は漏り、土台の木材は腐敗し、電気系統は古びているなど、議事堂は年月を感じさせました。1972年に、政府は8千万ドル以上の費用を要した議事堂の大々的な修復と改装に着手しました。



ロウワー・ロタンダ (THE LOWER ROTUNDA)

この部屋の中心部の床には手で敷かれたイタリア風モザイクがあります。モザイクの上に展示されているのはシュウイティステルと呼ばれる伝統的なリバーカーヌーで、これはスティーブン・ポイント第28代ブリティッシュ・コロンビア州副知事と、クワギル族の世襲酋長であり彫刻師であるトニー・ハント酋長の手によるものです。シュウイティステルは「川を渡るのに安全な場所」という意味で、民族間の架け橋を象徴しています。

見上げると、高さ30.5メートル（100フィート）のドームがそびえています。ラッテンベリーはルネッサンス様式の八角形のドームを使用することにしました。そのドームは米国の州や連邦政府の多くの議事堂に使われている新古典様式の円形のドームとは趣が違い、この議事堂を特徴づけています。ドームの先端にはキャプテン・ジョージ・バンクーバーの2メートルの像が立っています。この像は鋳起銅製で、14金でメッキがしてあります。



ブリティッシュ ユ・コロンビア 州紋章

(British Columbia
Coat of Arms)



1987年に採択されたブリティッシュ・コロンビア州の紋章には、その植民地時代の過去とこの州の自然の輝きという要素が

盛り込まれています。王冠の上に立っている王冠をかぶったライオンは、エリザベス二世女王陛下のロイヤル・クレスト（紋章）を表現しています。盾の青い線は太平洋を、白い線は雪を頂いたロッキー山脈を表現しています。沈んでゆく太陽は、この州がカナダ最西端の州であることを示しています。左側のワピチジカ（あるいはヘラジカ）は旧バンクーバー島植民地を、大きな角の野生羊は旧ブリティッシュ・コロンビア本土植民地を表現しています。一番下の銘は、ラテン語で「splendor sine occasu」（「衰退なき美」、「終わりなき美」というような意味）と書かれています。ライオンの首の周りと同紋章の底部に配置されているのは（1956年からブリティッシュ・コロンビア州の州花である）ハナミズキの花輪です。

レセプション・ホール

現在、レセプション・ホールは特別な催事やレセプション・パーティーに使われますが、40年前にはまだ林野省の執務室でした。その当時、このスペースは仕切りで区切られ、床は赤いリノリウムでした。修復工事中にこの部屋の天井が発見され、本来の初期フランス・ルネッサンス様式に改装されました。リノリウムも剥がされ、もともとの床だった、この土地産のダグラス・ファー（米松）の寄木細工が修復されました。



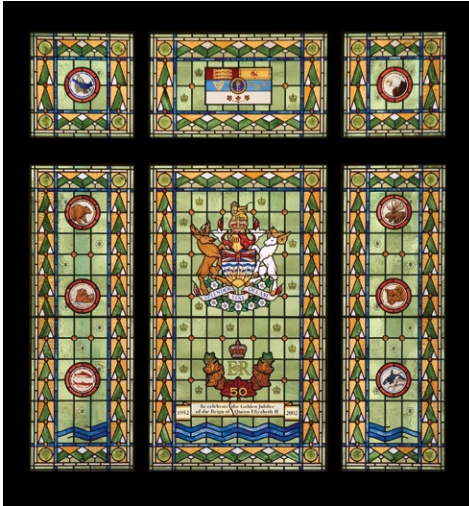
肖像

カナダ女王エリザベス二世陛下の肖像画は、カナダ人アーティスト、フィル・リチャーズによって描かれ、女王陛下の即位60周年を記念して2012年にバッキンガム宮殿にて初めて公開されました。肖像画には、ビクトリア女王統治下で1867年に調印され1982年にカナダに戻ってきた英領北アメリカ法の写しの書類や、女王のカナダ在位60周年記念エンブレムを施した花瓶など、60年間にわたる女王陛下のカナダに対する貢献をあらゆる複数のシンボルが描かれています。女王陛下はカナダの勲等を身につけた姿で描かれています。

カナダは議会民主制の立憲君主国であり、カナダ女王としてのエリザベス女王は、当国家の元首です。カナダ国内では、女王の代理は総督と州ごとにいる副総督が勤めています。副総督の写真は、女王陛下の肖像画の右側に掛けられています。

スタンドグラス

エリザベス二世陛下のゴールデン・ジュビリー・ウィンドウ(GOLDEN JUBILEE WINDOW)



ゴールデン・ジュビリー・ウィンドウは、エリザベス二世陛下下の2002年のゴールデン・ジュビリー(即位50周年)を記念する、ブリティッシュ・コロンビア州政府から女王への贈り物です。この窓はビクトリアの職人、エドワード・シエフアーとトーマス・マーサーの二人により作成されました。上端部分には、女王陛下のカナダのロイヤル・スタンダード(王旗)があるのがわかります。これは女王陛下個人のカナダ旗で、陛下がカナダに滞在している時だけ掲げられます。

ほかにも州鳥のステラーカケス、州魚のパシフィックサーモン、一番下に緑色を挿入して示してある州石のヒスイなどブリティッシュ・コロンビア州の様々なシンボルを見ることができます。

ビクトリア女王のダイヤモンド・ジュビリー・ウィンドウ(DIAMOND JUBILEE WINDOW)

ダイヤモンド・ジュビリー・ウィンドウは、1897年のビクトリア女王陛下下のダイヤモンド・ジュビリー、すなわち即位60周年のために発注されました。

左側は18歳のビクトリア女王の即位(1837年)の日付、右側は女王のダイヤモンド・ジュビリー(1897年)の日付です。「V」と「R」の文字はラテン語の「Victoria Regina」つまりビクトリア女王の略です。



ダイヤモンド・ジュビリー・ウィンドウは、本来は2階の本会議場の裏側にありました。1912年に、新しい立法府図書館建設のため、この窓は地下室に安全に保管されました。そのまま1974年の修復工事中に発見されるまでの62年間、地下室にありました。

窓の上端部分にはブリティッシュ・コロンビア州の最初の紋章があります。州政府は1895年に枢密院例によりこの紋章を採択しました。この紋章には現在使われているシンボルと同じものが数多く含まれていますが、英国当局はこの意匠を許可できませんでした。盾に描かれた英国の旗が、沈みゆく太陽より下の位置に置かれているのが不適切と考えられたためです。この意匠は、「太陽の沈まない大英帝国」という当時よく言われた表現と矛盾していました。最初の紋章に描かれていた花は英国の紋章に由来しています。スコットランドの紫のアザミ、アイルランドの緑のシロツメクサ、イングランドのピンクのチューダーローズ、最後にウェールズの黄色いラッパ水仙です。

階段の窓

メモリアル・ロタンダへ続く階段を上る途中には、17世紀と18世紀の英国の著述家、思想家の引用が記された一連のステンドグラスの窓があります。この窓は本会議場へ赴く議員と傍聴人を啓発するためにこの場所にあります。



メモリアル・ロタンダ(THE MEMORIAL ROTUNDA)

メモリアル・ロタンダという名前の由来は、ここが数々の戦争でその命をカナダに捧げた、ブリティッシュ・コロンビア州出身の戦没者に捧げられた慰霊の場であるためです。追悼帳(Books of Remembrance)には、第一次、第二次世界大戦で兵士として奉仕し、戦死したブリティッシュ・コロンビア州の公務員の名前が一覧になっています。

メモリアル・ロタンダの中央は暗色のテネシー大理石で縁取られた円形の吹き抜けになっています。壁は二色のテネシー大理石の縁取りと23金の金箔で装飾されており、これらはいずれも修復時に施されました。床の人造大理石にはイタリアから輸入した大理石と花崗岩の小片が使用されています。

メモリアル・ロタンダのドームを見上げると、州ができたばかりの頃に行われていた、林業、漁業、農業、鉱業の4つの主要産業を描いた絵が見えます。これらの絵は、1935年にジョージ・H・サウスウェルによって描かれ、1952年に取り付けられました。





式典用入り口 (CEREMONIAL ENTRANCE)

式典用入り口はメモリアル・ロタンダへの通路で、本会議場へ直接続いています。議事堂の物理的及び象徴的な中心です。この入り口は、毎年2月に副総督が議事堂へ入場し議会の会期を開始するときなど、極めて特別な場合のみに使用されます。女王陛下がこの入り口を最後に通過したのは、1983年3月でした。

1998年12月2日、ニスカ族最終合意法の審議中に議会で演説するためジョセフ・ゴスネル酋長がこの式典用入り口から本会議場へ入場したことで、新たな慣例が確立されました。このとき最終合意法の完了に立ち会う多数の先住民酋長もゴスネル酋長に続いて入場しました。

議会本会議場(LEGISLATIVE CHAMBER)



本会議場の広さは12×18メートルです。壁はイタリア産の茶色の大理石の羽目板が張られ、22列の緑、白、紫のイタリア産大理石で装飾されています。天井は金箔で縁取られ、4つのドーム型のステンドグラスの天窓があります。大型の錬鉄のランプは1898年に本会議場に吊られていたもののレプリカです。

本会議場内には州議会議員が集まり、政府与党または野党の一員として公務を果たします。政府与党議員とは総選挙で最も多くの議席を獲得した政党に属す議員のことです。獲得議席数が次に多かった政党は野党を形成します。その他の政党の議員および独立系議員も野党に入ります。野党議員の役割は、政府の活動について問題提起し、既存の政策に代替案を提示することです。

議会の会期中、州議会議員は本会議場（「議会」とも言います）で提起されたすべての法案を検討し、議論し、投票する義務があります。さらに、政府の歳出案（予算案）を精査して承認し、政府の活動や計画に関する審議も行います。

州議会議員が有権者に対して果たさねばならないもう一つの重要な責任は、本会議場において有権者の意見を代表し、有権者の関心となる地域の問題を提起することです。州議会議員は民意と政府を結びつける存在であり、代表する地域の有権者の意思を政府プログラムや行政機関に反映させるという重要な役割を持っています。

議員の机

本会議場は、並んだ机をフロアの両側に配置して、二分されています。伝統的に、与党は議長の右側に座り、野党は議長の左側に座ります。1872年にさかのぼると、ブリティッシュ・コロンビア州の最初の議会の議員数は25名でした。現在は、ブリティッシュ・コロンビア州全体から、議会に奉仕するため87名の議員が選出されています。

議長席

本会議場の一番奥に議長席があります。議長は議員の1人であり、議論を統轄し、行動と手続きについての決まったルールに議会を確実に従わせることがその役割です。議長は、議会の全議員による無記名投票によって選出されます。一度選出されたら、議長は党派的な行動をやめ、全ての議員が所属政党に関わらず、公平かつ公明正大に扱われるようにする責任があります。



書記のテーブル

議長席の前のテーブルは書記のテーブルです。議会の書記とその補佐官は、議長と議員に議会の手続きについて助言する準備をし、ここに座っています。

傍聴席

傍聴席は3階にあり、本会議場全体を見渡せるようになっています。議国会期中は一般市民に開かれています。

記者席

議長席の上の席の第一列目は、議会と州政府についてのニュースを取り上げるのが職務のメディアの関係者のために確保されています。

職杖 (THE MACE)

何世紀も前は、職杖は守衛官個人の武器であり、その任務と権限の象徴でもあり、字の読めない人々に対して王家の印を示していました。現代では、職杖は議会および議長の権威のシンボルとなっています。そして議会がその本分を果たすためには、職杖が書記のテーブル上になければなりません。職杖の存在は、議会が滞りなく開会していて、主権者の承認と同意が完全になされていることを示します。

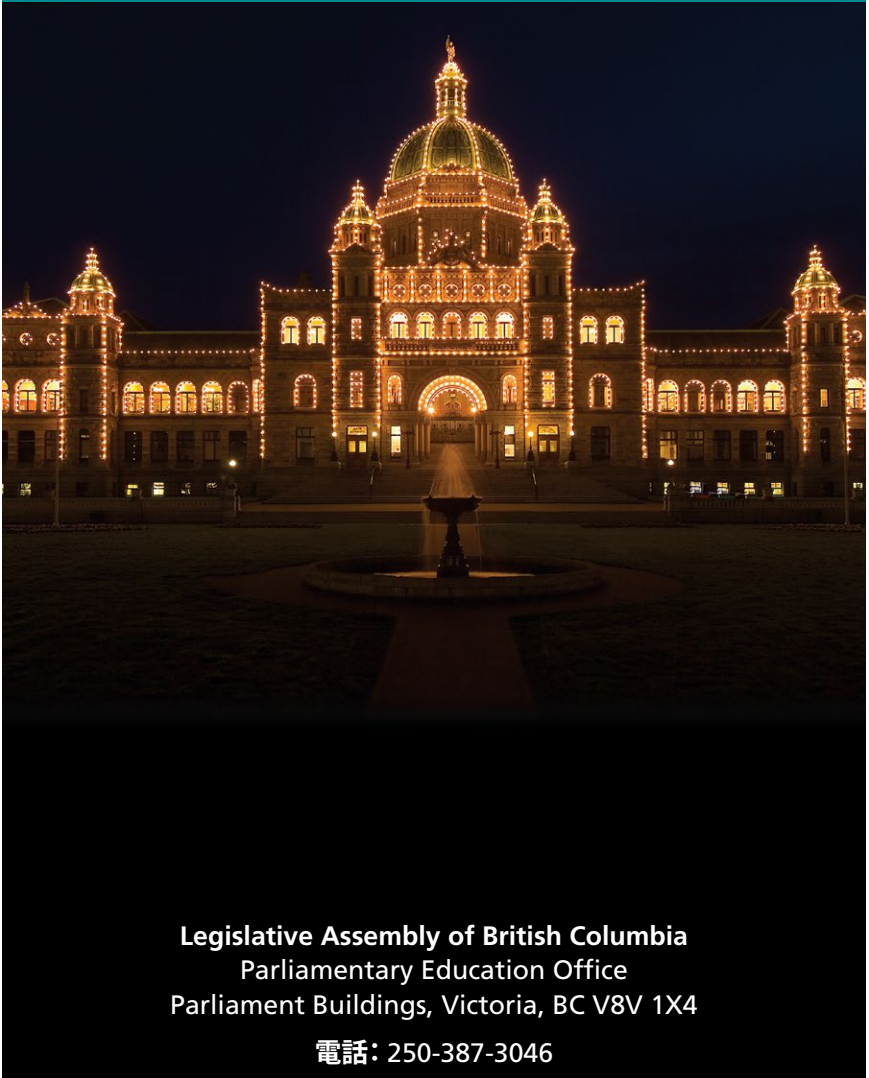




これで議事堂のツアーは終わりです。本日は
ご来訪くださりありがとうございます。
見学が有意義なものであったことを祈り
ます。その他の情報は、議会ウェブサイト
(<http://www.leg.bc.ca>)をご覧ください。



LEGISLATIVE ASSEMBLY
of BRITISH COLUMBIA



Legislative Assembly of British Columbia
Parliamentary Education Office
Parliament Buildings, Victoria, BC V8V 1X4
電話: 250-387-3046

議事堂を出る前に、ぜひギフトショップにお立ちよりください。